

一般質問(要旨)



議員 長谷川 重幸
いばらき自民党
東茨城郡南部選出
一括方式

インバウンドへの取り組み

議員 拡大するインバウンド需要を取り込み、地域の活性化、産業の振興に結び付けていくことが必要である。今後、インバウンドへの取り組みをどう進めるのか。
営業戦略部長 一層の誘客を推進するため、情報発信を強化し、本県の豊富な地域資源を生かした多様な体験・宿泊型コンテンツを組み込んだツアー造成を働き掛けるとともに、ハード・ソフト両面の受け入れ環境の充実に取り組み、観光消費額の向上につなげていく。



議員 村上 典男
いばらき自民党
市選出
一括方式

寄附金の活用事業を軸としたふるさと納税

議員 ふるさと納税による寄附金を活用した事業の効果について、より分かりやすく「見える化」するなどの工夫により、返礼品本位ではないふるさと納税の在り方が実現されると考えるが、所見は。
総務部長 例えば、「百万円をいただくと、県からボランティア団体などに譲渡した犬猫百頭分の飼育の支援に充てられる」といったPRを行うなど、寄附による事業効果や実績について、より分かりやすく情報提供していきたい。

買い物難民・通院難民対策

議員 高齢化が進む中、買い物難民・通院難民が増加することが想定されるが、これまでの対策と今後の取り組みは。
政策企画部長 住民の買い物支援や公共交通の維持確保などに取り組みする市町村を支援してきた。今年度からは、新たに買い物支援と見守りサービスなどを合わせたモデル事業を展開し、民間事業者との連携を目指す。
(ほかに、市町村行財政運営に対する知事の基本姿勢、日本語指導の必要な児童生徒への支援なども質問)



アメリカからの教育旅行受け入れの様子(茨城町提供)

少年の薬物乱用防止のための対策

議員 少年の多くは、薬物乱用の恐ろしさを十分に理解していないのではないかと。若い世代が薬物による悲劇の深刻さを自覚できるかが重要と考えるが、警察としてどのように取り組んでいくのか。
警察本部長 県警察では、教育庁などの協力を得ながら、各学校において薬物乱用防止教室を開催し、少年の年齢や発達段階に応じた理解しやすい方法で薬物の有害性および危険性を訴えていく。
(ほかに、県職員の労働環境、県道大洗友部線の整備なども質問)



中学校における薬物乱用防止教室



議員 外塚 潔
無所属
かすみがうら市選出
一括方式

冷凍技術を活用した霞ヶ浦水産資源の販路拡大

議員 湖上で適切に保冷した霞ヶ浦のシラウオを新鮮な状態で提供できれば、魚価の維持向上により漁業関係者の経営安定化につながる。鮮度管理や販路拡大の取り組みをどう支援していくのか。
農林水産部長 シラウオの生食用凍結品の製造に向け、船上での鮮度管理技術や凍結技術の開発に取り組み、高鮮度のシラウオを安定供給する研究を行うとともに、販路拡大を支援し、霞ヶ浦北浦漁業の経営改善を図っていく。



議員 伊沢 勝徳
いばらき自民党
市選出
一括方式

新しい茨城県総合計画の策定

議員 新たな茨城県総合計画の策定に当たり、どのような県政を進めていこうとしているのか、また、計画策定の基本的な考え方は。
知事 県民が自分の叶えたい夢に向かって挑戦し続けられるような県づくりを実現することが、計画の基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」につながるものと考えている。この考えの下、県民と共に「挑戦する茨城県」を築き上げていくことを計画の中にしっかりと位置付けていく。

県南地域への重症心身障害児入所施設の拡充

議員 在宅で医療的ケアを伴う介護を受けている方が短期入所を希望しても、県南には施設が少なく簡単に入所できない。施設拡充を誘導する施策が必要と考えるが、所見は。
保健福祉部福祉担当部長 医療型短期入所の開設経費の助成などにより、新規開設や定員増に努めるとともに、庁内の協議の場に医療機関などを加え支援策を検討し、短期入所施設の拡充に努めていく。



霞ヶ浦水産資源の販路拡大

つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめとしたサイクリング資源の活用

議員 つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめ、本県が有するサイクリング資源について、交流人口の拡大や地域の活性化に向けて、今後、どのように活用していくのか。
政策企画部長 今年度内に県版の自転車活用推進計画を策定するが、その際には整備したサイクリングコースの活用を提案しながら、消費の拡大につなげ、地域が自ら稼ぐ仕組みの構築も検討していく。
(ほかに、世界湖沼会議、G20貿易・デジタル経済大臣会合、少子化対策のための働き方改革なども質問)



霞ヶ浦湖畔を走るサイクリスト

質問方式について

議員は次のいずれかの質問方式を選択できます。
○一括方式 質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める。
○分割方式 質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める。

今定例会で可決された議案

- ◆意見書
 - 「原子力研究開発」に関する意見書
 - 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書
 - ヘルプマークのさらなる普及と推進を求める意見書
 - ◆その他
 - 県有財産の売却処分について
 - 工事請負契約の締結について
 - ◆報告
 - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について
 - ◆知事提出
 - ◆条例の一部改正
 - 茨城県県税条例等の一部を改正する条例
 - 茨城県旅館業法施行条例の一部を改正する条例
 - 茨城県海外対象医師修学研修資金貸与条例の一部を改正する条例
- ほかに六件 ※意見書の全文はホームページでご覧になれます

決算特別委員会を設置しました

平成二十九年茨城県一般会計決算、同特別会計決算および同公営企業会計決算を総合的かつ一体的に審査するため、六月八日の本会議において、十五名の委員で構成する決算特別委員会を設置しました。選任した委員は次のとおりです。

委員長	福地 源一郎	委員	鈴木 将
副委員長	志賀 秀之	委員	安藤 真理子
委員	白田 信夫	委員	長谷川 重幸
委員	横山 忠市	委員	飯田 智男
委員	西野 一	委員	佐藤 光雄
委員	村上 典男	委員	八島 功男
委員	島田 幸三	委員	江尻 加那
委員	鈴木 定幸		